

健康・福祉

平成23年度市民健康診査
申込書を配布します

●配布期間 12月上旬～12月下旬
●申込書の配布方法

①自治会加入者(11月1日現在)
各自治会を通して配布します
②自治会未加入者(11月1日現在)
郵送で配布します

●お願い お手元に申込書が届きましたら、同封の添書や健康診査のご案内をよくご覧になり、必要事項を記入してご提出ください。

なお、市の健康診査を受診しない方につきましても、健康調査として参考にいたしますので、未受診の理由などを記入のうえ、提出をお願いいたします。全世帯の回収にご協力ください。

●申込書を記入する際の注意点

①様式について

平成23年度から、申込書および案内の様式が変わりました。

申し込み方法や記入方法については変更ありませんので、従来と同様に記入ください。

②申込書の作成基準日について

申込書は、平成22年11月1日時点での住民基本台帳をもとに作成しております。

③対象者について

申込書に名前が記載されている方

が市民健康診査の対象となりますので、記入例にならない、検査項目ごとに調査番号をご記入ください。

④受診希望日について

健診会場ごとに定員がありますので、お住まいの地区以外の地区の健診日を希望する方につきましては、日程の変更をお願いする場合があります。

⑤社会保険加入者の特定健康診査申し込みについて

40歳以上で社会保険に加入している方が特定健康診査の申し込みを行う場合は、医療保険者に「特定健康診査受診券」の発行を申請し、受診券が発行されてから、直接成人健康係までお申し込みください。

なお、各種がん検診については今回の申込書でお申し込みいただけます。

⑥生活保護受給者・後期高齢者医療加入者の申し込みについて

生活保護受給者および65歳から74歳の方で、後期高齢者医療に加入している方の基本健診申し込みにつきましては、平成23年4月以降に直接成人健康係までお申し込みください。

●その他

平成23年度から「胃がんハイリスク検診」が導入されます。詳しくは、下段の関連記事をご覧ください。

■申し込み・問い合わせ

健康政策課成人健康係

☎(23)7601

平成23年度
市民健康診査
集団健診

40・45・50・55・60・65・70・74歳対象
「胃がんハイリスク検診」を導入します

■問い合わせ

健康政策課成人健康係
☎(23)7601

●胃がんハイリスク検診とは？

従来のバリウムを飲むX線検査とは異なり、血液検査によって胃の粘膜の状態を調べ、胃がんにかかるリスク(危険度)を確認する検査です。

各検査の特徴

従来の胃がん検診

- ・バリウムによるX線検診
- ・胃の内壁の状態を視覚的に調べる

胃がんハイリスク検診

- ・血液検査による
- ・胃の内壁の状態を検査値で把握する

胃の粘膜の萎縮(老化)が進んだ状態である『萎縮性胃炎』になると、胃がんが発生しやすくなります。

また、胃がん発生には『ヘリコバクター・ピロリ(ピロリ菌)』という細菌の感染が大きく関わっています。

●胃がんハイリスク検診のしくみ

胃がんハイリスク検診は、胃粘膜の萎縮の進行具合と、ヘリコバクター・ピロリ(ピロリ菌)に感染しているかどうかを調べることで、胃がんにかかるリスクを判定しています。

※19ページ「ピロリ菌に感染した胃の経過」参照

①ペプシノゲン検査(PG検査)

胃粘膜の萎縮により、血液中のペプシノゲン(胃酸のもと)の値が減少します。

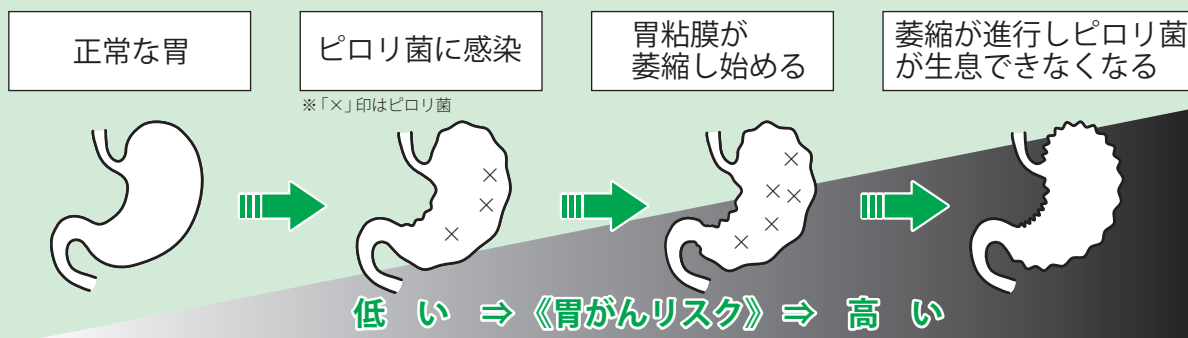
この値を測定する事で萎縮性胃炎の進行度がわかります。

②ヘリコバクター・ピロリ抗体検査(HP検査)

胃がヘリコバクター・ピロリ(ピロリ菌)に感染すると、特殊な抗体が生成され、血液中に流れます。

この抗体を測定する事で、ピロリ菌に感染しているかどうかわかります。

ピロリ菌に感染した胃の経過



| 総合判定 | 要精密検査 | | | |
|------------------------|-------------|-------|-------|-------|
| | 異常なし A 群 | B 群 | C 群 | D 群 |
| ペプシノゲン検査 (PG検査) | 陰性(-) | 陰性(-) | 陽性(+) | 陽性(+) |
| ヘリコバクター・ピロリ抗体検査 (HP検査) | 陰性(-) | 陽性(+) | 陽性(+) | 陰性(-) |

● 検診の対象者について

● 検診の対象となる方

平成23年度中に、次の年齢になる方の胃がん検診は、原則として「胃がんハイリスク検診」となります。

《胃がんハイリスク検診対象年齢》 40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳・74歳

ただし、バリウムでの検診を希望する方や、胃がんハイリスク検診の対象にならない方は、バリウム検診を受診できます。

健康診査申込書内の「胃がん検診」の「X線検診」に「****」の表示がありますが、訂正線を引き、記入例を参考にお申し込みください。

● 検診の対象とならない方

次の方は、判定が困難または治療が優先されるため、検査の対象となりません。検査については担当医にご相談ください。

| 対象除外項目 | 除外理由 |
|---------------------------------|-------------|
| 明らかな上部消化管症状があり、胃や十二指腸の疾患が強く疑われる | 保険治療の対象 |
| 食道、胃、十二指腸疾患で治療中 | 保険治療の対象 |
| 胃酸分泌抑制剤服用中もしくは2か月前以内に服用していた | ペプシノゲンが高く出る |
| 胃切除後 | ペプシノゲンが高く出る |
| 腎不全（クレアチニン値が3mg/dl以上） | ペプシノゲンが高く出る |
| ピロリ菌を除菌済 | 医療機関での経過観察者 |

20歳になる方を対象に『若年胃がんハイリスク検診』を実施します

平成23年度に20歳になる方に対し、胃がんハイリスク検診のうち、ヘリコバクター・ピロリ抗体検査 (HP検査) を実施します。

胃がヘリコバクター・ピロリ (ピロリ菌) に感染しているかどうかを検査することができますので、ぜひ受診してください。

● 検査結果について

精密検査の判定となった方は、**胃内視鏡検査**が必要になります。

通常のバリウム検診を受診した場合と比べ、今後の経過観察の方法がより具体的になります。詳しい方法については、結果と共にお知らせします。

※精密検査については保険診療となります。

※治療が伴わないピロリ菌の除菌については、保険対象外となります。